

多摩市消防団活動 見直し検討委員会（報告）



令和 3 年 11 月 16 日
多摩市消防団・防災安全課作成

目次

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 目的 | - 1 - |
| 2. 委員の構成 | - 1 - |
| 3. 意見集約方法 | - 2 - |
| (1) 班構成 | - 2 - |
| (2) 実施回数 | - 2 - |
| (3) 意見集約方法 | - 2 - |
| 4. 多摩市消防団の現状 | - 2 - |
| (1) 団員について | - 2 - |
| (2) 地域の組織として | - 2 - |
| 5. 各回のテーマ | - 4 - |
| 6. 各検討委員会のまとめ | - 4 - |
| (1) 第1回目 活動の認知（地域へのイメージ・ステータス向上、広報） | - 4 - |
| (2) 2回目 団員確保・待遇向上（家族含めて） | - 5 - |
| (3) 第3回目 「負担の軽減」 | - 6 - |
| 7. 団本部への提案 | - 7 - |
| (1) 消防団の活動や姿を正しく伝える | - 7 - |
| ① 地域住民に近い場所で活動を行う | - 7 - |
| ② 消防団活動の PR | - 7 - |
| (2) 家族の理解を得やすい環境を整える | - 7 - |
| ① 団員家族に対して、日頃の感謝の気持ちを伝える | - 8 - |

| | | |
|-----|-------------------------|--------|
| ② | 多様な働き方に対するサポート..... | - 8 - |
| (3) | これからの時代に合わせた組織づくり | - 8 - |
| ① | 活動の改革..... | - 9 - |
| ② | 通信環境の整備・電子化への対応..... | - 9 - |
| 8. | 検討結果..... | - 10 - |
| 9. | 今後の予定 | - 11 - |
| 10. | (参考) 出席者名簿..... | - 12 - |

1. 目的

全国的な問題でもあるが多摩市においても、**消防団員の確保が難しくな**っているとともに、消防団を取り巻く**環境も変化**してきている。多摩市消防団として、**団員から直接意見を聞き**、その意見をまとめ、今後の活動に対する団本部への「**提案**」を行う。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度と3年度9月までは、ほとんどの活動を停止しているが、団員としての活動時間が減少したことをチャンスととらえ、テーマを決めてしっかりと団員と向き合い、お互いに課題解決に向けて話し合うこととした。

そして、提出された提案については、団本部にて協議を行い、可能な限り、今後の活動計画等を作成する際に反映するとともに、消防団員の**処遇改善・消防団員の入団促進につなげる**ことを目的とする。

なお、より多くの意見を収集するとともに、新たなる発想の発見や、一人の意見を多くの団員が共有できるように「多摩市消防団活動見直し検討委員会」を設置する。

また、総務省消防庁より「消防団員の処遇等に関する検討会」最終報告書」が発出されることも踏まえ、検討を行うこととする。

2. 委員の構成

- | | |
|--------------|---|
| ○ 委員長 | 森久保消防団長 |
| ○ ファシリテーター | 吉沼本部員 |
| ○ ファシリテーター補佐 | 佐伯一哉本部員・佐伯洋之助本部員 |
| ○ メンバー | 各分団から入団5年前後・10年前後の団員を各1名選出（検討会は3回程度実施予定されているが、メンバーを固定とするか、毎回選出とするかは、各分団の事情を優先） 各回20名 |

3. 意見集約方法

(1) 班構成

- 1班5名×4班構成

(2) 実施回数

全3回（6/16（水）19時・8/4（水）19時・11/14（日）9時）

(3) 意見集約方法

- グループワークを行う
- 第1回目で3回分のテーマを決定
- 各回、テーマに沿った話し合いを行う
- 団本部への提案となるよう、最終的に各班から発表をおこない、その日の意見をまとめる

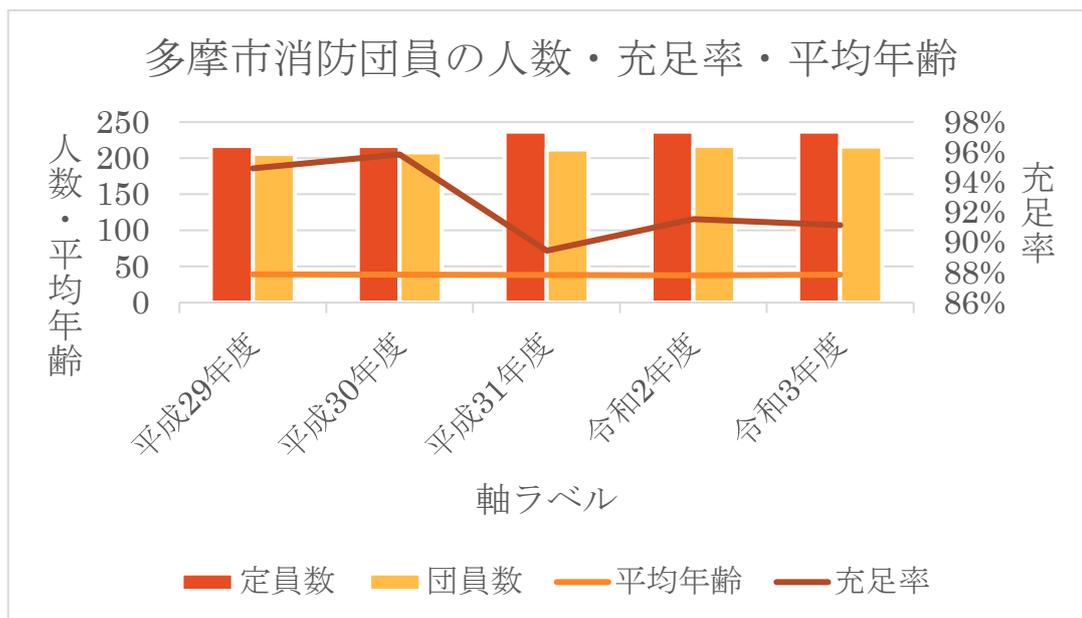
4. 多摩市消防団の現状

(1) 団員について

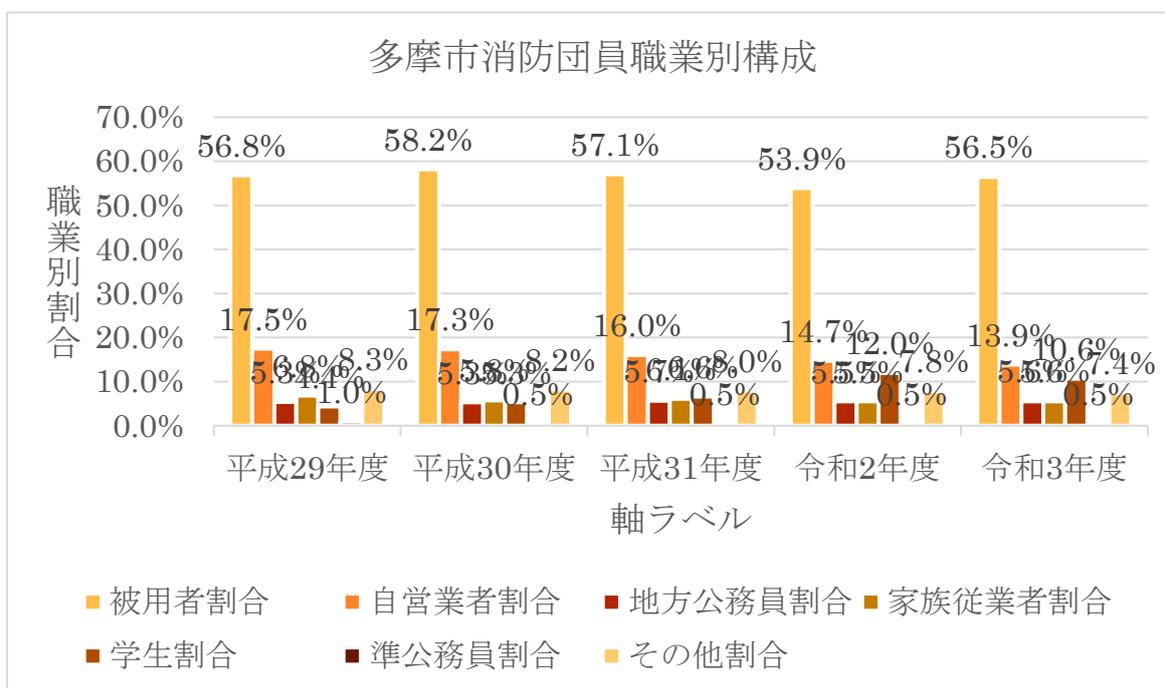
- 消防団員の減少・高齢化している
- 若者が入団しにくい（できない？）組織となっている
- サラリーマン団員の増加。活動に参加しにくくなっている
- 地元のつながりでの入団が少なくなりつつある
- 女性消防団員・学生消防団員・機能別消防団員などの制度を導入するも、根本的な解決策に至ってない

(2) 地域の組織として

- 激甚化する風水害・首都直下地震への対応など、消防団への期待は高まっている
- 地域コミュニティの核としての役割も担っている
- 地域の消防力としての存在は大きい
- 多摩消防署 139人、多摩市消防団 216人 1.5倍の消防力



解説：平均年齢・・・40歳代中盤で推移
 充足率・・・90%以上を維持
 定員・・・200名を確保



解説：50%以上がサラリーマン団員。
 次に多いのが自営業者（15%前後）。
 昼間は市外（三多摩地域・都内）、夜間は市内といった団員が半分を占める

5. 各回のテーマ

| | テーマ | 背景 |
|---------------|----------------------------|--|
| 1 回目 6/16 | 活動の認知(地域へのイメージ・ステータス向上、広報) | 地元とのつながりができる、仕事以外でのつながりができる、活動を広めていきたい |
| 2 回目 8/4 | 団員確保・待遇向上(家族含めて) | 家庭に優遇が欲しい、消防団の活動が知られていない、活動が少ないから、団になじめない。機器の取扱いが不慣れなまま、若い人に知られる機会が少ない、租税の軽減など大きなメリットの創設 |
| 3 回目 11/14 | 負担の軽減 | 家族との時間がとられる、操法への取り組み手法・訓練の内容や実施時期の検討、日曜日の訓練への参加が大変、時間の使い方が上手になる、本業との両立 |

6. 各検討委員会のまとめ

(1) 第 1 回目 活動の認知(地域へのイメージ・ステータス向上、広報)

地域へ消防団を知ってもらう

- ・ 広報や SNS を活用した PR の実施
- ・ 開かれた活動場所の確保
- ・ 市議含めて、影響力のある方々へ協力してもらい、地位向上へつなげてもらいたい

地元商店・企業との協力連携

- ・ キティちゃんとのコラボレーション(活動服を着てもらおう)
- ・ 地元商店へポスター掲示を依頼
- ・ 企業団員の確保により地元企業とのつながりを増やす



(2) 2回目 団員確保・待遇向上(家族含めて)

小・中・高校生との交流

- ・ 小学校・中学校・高校（市内の各学校ごと）の宿泊防災訓練へ出前授業の実施・体験会の実施。保護者も参加型（放水など）中学校中心がいい 通常授業時間で実施。
- ・ 詰所見学会（消防団の学習）。
- ・ 操法（訓練）の見学会（父親のがんばっている姿をクローズアップ）

地域が活動を見学できるようにする

- ・ 操法大会の実施場所の変更（多摩中央公園など）→ライブ配信の実施
- ・ 操法大会のときに出店だす。（グルメやその他の出店も。） → イベント色の創設
- ・ 放水などのデモンストレーション（市内の道路などで）（子供や奥さんの見る目が変わるほどに）

家族への待遇

- ・ 家族に対しカタログギフト等の贈呈。（5年・10年の表彰や操法大会の結果に応じて）
- ・ 消防団員であることで、家族旅行などへの支援を行い、活動への理解を深める

消防団主催の祭りの開催

- ・ キャラクターとのコラボレーション
- ・ 多摩センターなどで開催しているお祭りに消防車の展示・放水・活動パネルの展示等



子ども食堂とのコラボ

- ・ 子ども食堂や飲食店とのコラボレーションで炊き出しイベント

多様な働き方に対するサポート

- ・ 訓練等活動時の現地ベビーシッター等の子育て支援
- ・ 共働き家族への支援（子育てに関する支援）

その他

- ・ 通信環境の整備（分団小屋へ Wi-Fi の整備）
- ・ コロナ禍を意識した、集合しなくても会議ができる環境整備
- ・ 団員が楽しそうな姿を見せる
- ・ 操法中のかっこいい写真をもらえる
- ・ 入団時の説明がまちまち（マニュアル化）

(3) 第 3 回目 「負担の軽減」

全体練習の実施方法

- ・ 出初め式等リハーサルのコンパクト化
- ・ 来賓挨拶の簡素化
- ・ 活動日時の工夫（日曜日、祝日は避ける・土曜日 19 - 21 に実施）
- ・ 待ち時間を少ないように集合時間を工夫

ポンプ操法大会の実施方法

- ・ 隔年実施
- ・ 実践に近い訓練へ変更（自主放水訓練等）
- ・ 秋の開催
- ・ 練習期間を通年訓練
- ・ 分団小屋に近い練習場所の確保
- ・ オンラインでの採点・練習指導

団設備の見直し

- ・ 搬送車両の導入
- ・ 導入の場合は駐車場所の確保

活動の効率化

- ・ 地図データの電子化（消火栓位置 WEB 化）
- ・ タブレットの支給
- ・ 提出物の電子化
- ・ 会議の WEB 化
- ・ 消火の位置電子化（東京消防庁アプリ活用）
- ・ 活動区域の見直し



7. 団本部への提案

(1) 消防団の活動や姿を正しく伝える

消防団員は、出火への出動、風水害等の自然災害への対応、日々の訓練など、日頃の生活の傍ら、自分や家族の時間を使って、地域のために活動しています。しかしながら、訓練がきつい・人間関係が複雑など、一定数の市民には、マイナスイメージがあることは事実です

そこで、地域の防火・防災のために真剣に取り組んでいる消防団、自信とやりがいのある消防団、明るさ、爽やかさ、カッコよさを持っている消防団を前面に出し、多くの市民に、消防団が持っている本来の姿を見てもらうような仕掛けを行い、消防団員の地位向上につなげられるよう、具体的行動内容を提案します。

① 地域住民に近い場所で活動を行う

- ・ ポンプ操法大会の場所変更（自然と市民の目に触れる場所で）
- ・ 市内の学校（小学校から大学まで）の授業へ参画

② 消防団活動の PR

- ・ 地元商店と連携し、消防団活動の PR の実施
- ・ 地元企業から消防団への入団を促す
- ・ 動画やライブ配信を使った、SNS の活用
- ・ ポンプ操法大会の練習場所を、地元に近い場所を確保し、活動の効率化を図るとともに、日頃、頑張っている姿を PR する

(2) 家族の理解を得やすい環境を整える

出火報による緊急招集、台風襲来時の出動、各種訓練やポンプ操法訓練による休日・夜間返上の出動など、家族の一員が生業以外に、頻繁に、かつ長時間にわたり家を空けることは、出動する団員はもとより、留守を預かる家族も、不安であり、負担もかかる。

消防団動は家族理解がなければ成り立たないことから、日頃、心配や苦勞を掛けている家族に対し、感謝の気持ちを伝えるとともに、家族の負担を軽減できるような取り組みを提案する

① 団員家族に対して、日頃の感謝の気持ちを伝える

- ・ 団員の勤続表彰の記念品を、家族で選べるカタログギフト等に変更
- ・ 各分団が独自で団員家族に対し家族慰安事業の実施を義務付ける。また、その活動に対する費用の助成

② 多様な働き方に対するサポート

- ・ 保育付き訓練など、団員（男女ともに）が、子供と一緒に活動できる環境の整備
- ・ 共働き家族が抱える問題から消防団活動へ支障が出ている団員に対し、一時預かり保育に対する財政的支援
- ・ 家族との時間や個人の時間への配慮も考え、日曜日、祝日ばかりではなく、土曜日（19-21等）に実施する訓練の導入

(3) これからの時代に合わせた組織づくり

明治時代から受け継がれている地域の伝統を礎に、各分団とも精力的に活動している。消防団員であることで「地域の絆」が深まり、近所に顔見知りも増え、学生時代の友人や会社の同僚とは一味違った仲間を作ることができる。

しかしながら、近年は、生活スタイルの変化などから、「団員同士の絆」を育む機会が薄れている傾向にあるとともに、新型コロナウイルス感染症を経験し、消防団活動の制限、集まることへの感染リスクなど、消防団活動にはなかった経験をしました。

そこで、古い体質から離れ、慣習にとらわれず、ウィズコロナを意識し、厳しい訓練も、団員一人ひとりが笑顔で、お互いの存在を尊重し、仲間との絆（仲間意識）も醸成できるような体制を構築します。

① 活動の改革

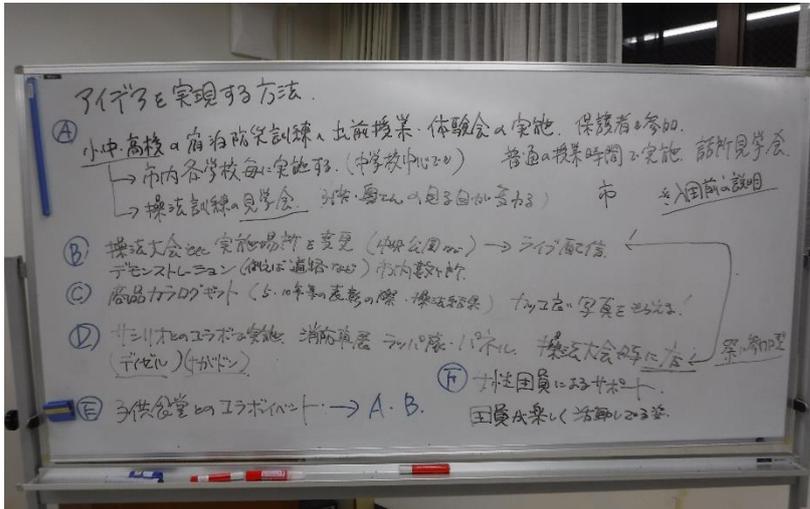
- 出初め式等リハーサルのコンパクト化や来賓挨拶の簡素化を行うなど、活動以外の待ち時間を縮減する
- ポンプ操法大会を2年に1回の実施へ変更する
- ポンプ操法大会の代わりとして、実践に近い訓練の導入（自主放水訓練等）
- 近年の猛暑を考え、ポンプ操法大会の実施を、秋へ変更し、熱中症等のリスクを軽減する
- 搬送車両確保と駐車場所の確保を行う

② 通信環境の整備・電子化への対応

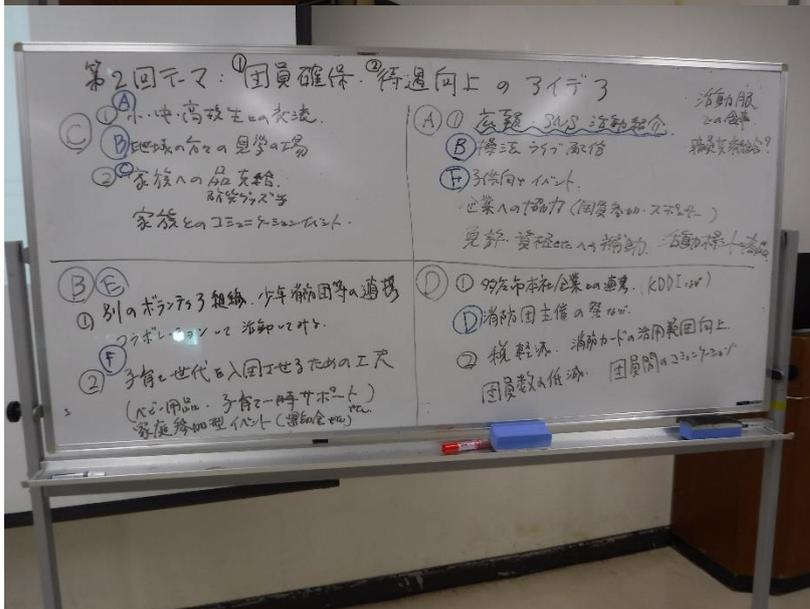
- 消防団器具置き場へWi-Fiの整備
- ウィズコロナの時代だから、WEB会議実施可能な環境整備
- 消火栓位置を地図データ化や、提出物の電子化をはかれるよう、タブレットの支給

8. 検討結果

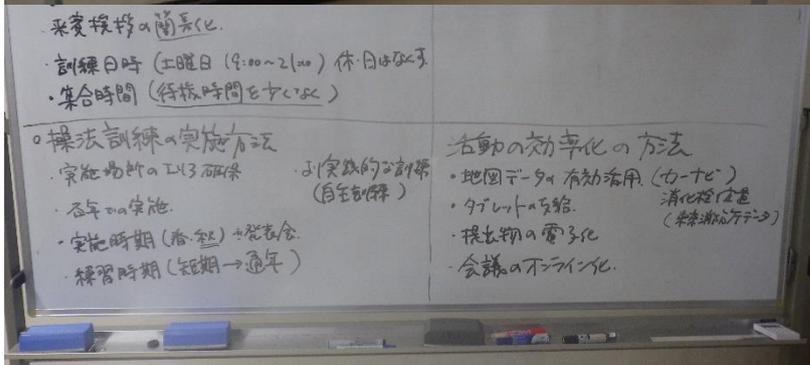
第1回目



第2回目



第3回目



9. 今後の予定

| 月 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|----|---|--------------|-------------|--------------|--------|
| 項目 | 第3回目 予算化が必要 なものは、先 行して予算要 求 | 次年度に向け 検討 | 事業計画案作 成 | 消防委員会へ 報告 | 事業計画決定 |

10. (参考) 出席者名簿

多摩市消防団活動見直し検討委員会 (第1回)

日時：令和3年6月16日(水) 19:00～

会場：多摩市役所301・302会議室

| 分 団 | 階 級 | 勤続年数 |
|-------|------|------|
| 団本部 | 副団長 | 30 |
| 団本部 | 分団長 | 20 |
| 第1分団 | 班長 | 10 |
| 第1分団 | 団員 | 5 |
| 第2分団 | 団員 | 8 |
| 第2分団 | 団員 | 2 |
| 第3分団 | 班長 | 10 |
| 第3分団 | 団員 | 4 |
| 第4分団 | 班長 | 8 |
| 第4分団 | 班長 | 5 |
| 第5分団 | 副分団長 | 13 |
| 第5分団 | 班長 | 10 |
| 第6分団 | 班長 | 11 |
| 第6分団 | 班長 | 9 |
| 第7分団 | 部長 | 9 |
| 第7分団 | 班長 | 6 |
| 第8分団 | 班長 | 7 |
| 第8分団 | 班長 | 7 |
| 第9分団 | 班長 | 10 |
| 第9分団 | 団員 | 5 |
| 第10分団 | 分団長 | 15 |
| 第10分団 | 団員 | 19 |

多摩市消防団活動見直し検討委員会（第2回）

日時：令和3年8月4日（水）19：00～

会場：多摩市役所301・302会議室

| 分 団 | 階 級 | 勤続年数 |
|-------|------|------|
| 団本部 | 分団長 | 26 |
| 団本部 | 分団長 | 20 |
| 第1分団 | 班長 | 10 |
| 第1分団 | 団員 | 5 |
| 第2分団 | 団員 | 5 |
| 第2分団 | 団員 | 3 |
| 第3分団 | 班長 | 7 |
| 第3分団 | 団員 | 6 |
| 第4分団 | 団員 | 21 |
| 第4分団 | 副分団長 | 11 |
| 第5分団 | 部長 | 13 |
| 第5分団 | 班長 | 9 |
| 第6分団 | 班長 | 11 |
| 第6分団 | 班長 | 10 |
| 第7分団 | 班長 | 8 |
| 第7分団 | 団員 | 2 |
| 第8分団 | 団員 | 9 |
| 第8分団 | 班長 | 4 |
| 第9分団 | 班長 | 8 |
| 第9分団 | 団員 | 6 |
| 第10分団 | 班長 | 12 |
| 第10分団 | 団員 | 19 |

多摩市消防団活動見直し検討委員会（第3回）

日時：令和3年11月14日（日）9：00～

会場：多摩市役所 会議室

| 分 団 | 階 級 | 勤続年数 |
|-------|------|------|
| 団本部 | 分団長 | 26 |
| 団本部 | 分団長 | 20 |
| 団本部 | 分団長 | 22 |
| 第1分団 | 部長 | 18 |
| 第1分団 | 班長 | 16 |
| 第2分団 | 団員 | 3 |
| 第2分団 | 団員 | 7か月 |
| 第3分団 | 班長 | 9 |
| 第3分団 | 団員 | 5 |
| 第4分団 | 副分団長 | 11 |
| 第4分団 | 班長 | 3 |
| 第5分団 | 班長 | 7 |
| 第5分団 | 団員 | 4 |
| 第6分団 | 班長 | 9 |
| 第6分団 | 団員 | 3 |
| 第7分団 | 班長 | 18 |
| 第7分団 | 団員 | 2 |
| 第8分団 | 副分団長 | 10 |
| 第8分団 | 部長 | 11 |
| 第9分団 | 班長 | 12 |
| 第9分団 | 団員 | 5 |
| 第10分団 | 班長 | 6 |
| 第10分団 | 団員 | 7か月 |

